

# 令和6年度 京都市役所環境マネジメントシステム 外部有識者会議 会議録

- 1 日 時：令和7年3月19日（水）午後1時30分～午後3時35分
- 2 場 所：京都市役所 本庁舎1階 環境政策局会議室
- 3 出席委員：花田会長、赤木委員、小寺委員、山田委員
- 4 議 題：(1) 令和6年度のKYOMSの取組について（報告）  
(2) 課題及びその改善策について

## ＜開 会＞

環境政策局 環境企画部 環境保全創造担当部長 挨拶

### 事 務 局 <資料1及び資料2について説明>

委 員 長年取り組んでいると、乾いた雑巾を絞るような状態と思われる。そんな中、取組項目の令和5年度実績をみると数%も削減した項目もあり、感心である。今後、設備投資をしなければ、これ以上の削減は難しいのではないか。

事 務 局 削減が難しい項目もあるが、可能なところから取組を進めている。項目によっては、工夫の余地はあるのではないかと考えている。

また、設備投資については、市役所本庁舎の再整備をはじめ、ここ10年でLED照明への転換等整備を進めている。再整備がまだ完了していない区庁舎も一部あり、さらに設備更新が進めば、結果は変わってくると考えている。

委 員 各取組項目の増減要因がどれだけ分析できているかが重要である。

缶・びん・ペットボトル等の排出量削減については、令和5年度も令和6年度上半期も評価が「×」になっているが、来庁者による排出量の増加が主要因であれば、目標達成に向けては、来庁者への啓発も検討する必要がある。来庁者が排出するごみの比率は分かっているのか。

また、コピー用紙消費量の削減の令和6年度上半期評価が「×」になった要因について、新たな事業の対応や選挙の対応など、重要業務により増加したのであれば、市民も納得するだろう。市民が納得できる要因がきちんと説明できるかということが重要である。

事 務 局 来庁者が排出するごみの比率については、職員と来庁者で明確にごみ箱を分けておらず、各ごみ箱からごみを回収する際は、ごみの種類ごとに同じ袋にまとめて排出しているため、比率は分からない。排出量が増加した所属の一部からは、来庁者の増加が要因である旨を聴取している。

今後、市役所本庁舎に民間の店舗が入る予定であり、来庁者のごみの持込みにつながる可能性がある。必要な対策を検討していく。

委 員 気象状況や選挙の実施などの外部要因は、一定切り分けて考える必要がある。

来庁者への呼び掛けについては、周知の仕方の工夫に加え、別の方法を提示する必要もある。カナダのバンクーバーでは、プラスチックの削減を徹底

しており、給水機が道路の交差点を含めて各所に設置されているうえ、給水機の水の方がおいしくて、安全とPRされている。こっちの方が良い、こういうやり方がある、という提示の仕方が望ましい。

委員 実績が前年度と比べられており、直近の取組結果しか分からない。長年取り組まれているが、どれだけ取組が進んでいるのか。

事務局 KYOMSは平成21年9月から取組を開始した。平成22年度からの推移をみれば、多少の変動はあるものの全ての項目で改善傾向である。引き続き改善を図っていく。

委員 長年取り組まれており、前年度比で減らし続けるという仕組みは、順調に進む程苦しくなる。今回、令和5年度に大幅に減った項目が、翌6年度上半期の評価が「×」になっている。削減にも限度があり、ハードとソフトの両面で取り組まなければ、さらなる改善はなかなか難しく思われる。  
京都は全国的な環境ブランド都市であり、先駆的な思い切った取組をプライドをもってアピールされれば良いと考える。

事務局 <資料3～資料5について説明>

委員 局区等間監査に立ち会ったが、監査員と被監査側の質問のやりとりが1回か2回で終わってしまい、可能な限り多くやりとりしてほしいと思う場面があった。「これについては、いかがでしょうか。」という質問に対して、「こうしました。」と回答し、「そうですか。」で終わっている。今後は、取り組んだ結果、うまくいったのか、うまくいかなかったのか、アクションの有効性について踏み込んだやりとりがあると良い。

委員 今回同行した監査で感じた点が2点ある。  
1点目は、単に目標が達成できたか、できていないかだけで議論するのではなく、被監査側が、市民から見て納得できる要因が説明できているかが重要である。  
2点目は、市庁舎以外の民間建物に間借りしている所属のマネジメントをどうするか。民間建物に間借りしている所属まで全てコントロールできない中で、KYOMSシステムにうまく組み込むことができるか、が課題である。職員の経験的なマネジメントの運用で偶然うまくいっているところもあるだろうし、全てがうまくいっているわけではないと思う。  
間借りしている状況がまだ暫く続くのであれば、うまくやっている取組事例を普及させることができれば良い。

委員 間借りの場合は主体的に取り組むことが難しいという課題がある一方で、民間ビルの管理者に改善を働きかけるチャンスでもある。難しいかもしれないが、ビル全体を効率化することでコストが削減できると、呼び掛けてみてはいかがか。

<閉 会>